

三菱総合研究所、宇宙戦略基金「衛星データ利用システム実装加速化事業」に採択 中東において宇宙・衛星事業展開を目指す企業等の基盤整備・政策連携を支援

株式会社三菱総合研究所(代表取締役 社長執行役員: 藪田健二、以下 MRI)は、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)による宇宙戦略基金「衛星データ利用システム実装加速化事業 (B)海外における衛星データ利用システム等の開発・実証、社会実装基盤整備(委託)」に採択されました(事業名:「宇宙・衛星を軸とした中東(UAE等)における政策・ビジネス連携展開のための基盤構築事業」)^{*1}。本事業では、日本および中東(UAE、サウジアラビア等)の産官学連携のハブ機能を構築し、衛星データ利用の社会実装・事業化を加速するとともに、政策とビジネスの両面から持続的な協力基盤の確立を目指します。

1. 事業の背景

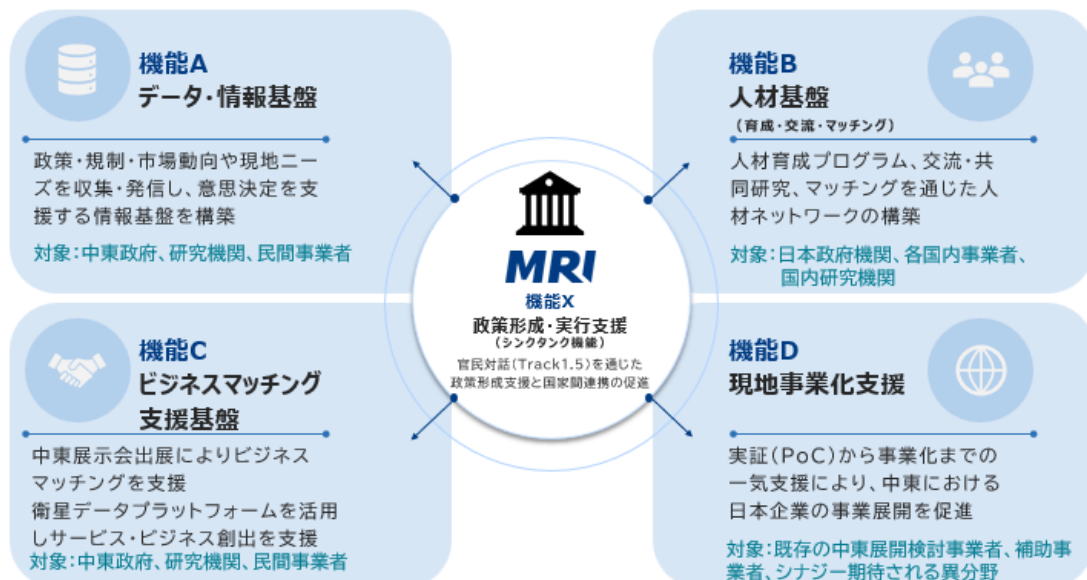
近年、中東では UAE やサウジアラビアを中心に宇宙分野への投資と開発が急速に進展し、衛星開発などが高度化しています。一方で、防災、気候変動対応、インフラ監視、海洋安全保障などの社会課題への対応に向け、衛星データ活用の需要が高まっているものの、その利活用やビジネス化は発展途上にあります。日本は衛星技術やデータ利活用分野で高い技術力を持ち、中東においても政府間で宇宙分野の協力関係構築を進めてきましたが事業化は限定的で、継続的な現地支援体制や官民連携の枠組みが十分とは言えない状況です。

MRI は総合シンクタンクとして、宇宙・衛星分野の政策・事業の調査研究から社会実装支援までを一体的に推進してきました。ドバイ拠点を中心とした中東ネットワークを活用し、政策とビジネスをつなげる実行力が評価され、本事業の受託に至りました。

2. 事業概要・特徴

本事業では、5 年計画^{*2}で中東における宇宙・衛星データビジネスの展開や政策設計の支援、および日本を含む諸外国との国際連携の推進を目指す以下のメニューを予定しています。

事業概要



- 機能 A:データ・情報基盤
政策・規制・市場動向や現地ニーズを収集・発信し、意思決定を支援する情報基盤を構築
- 機能 B:人材基盤(育成・交流・マッチング)
人材育成プログラム、交流・共同研究、マッチングを通じた人材ネットワークの構築
- 機能 C:ビジネスマッチング支援基盤
展示会・衛星データプラットフォームを活用した日中東間のビジネス創出支援
- 機能 D:現地事業化支援
実証(PoC)から事業化までの一貫支援により、中東における日本企業の事業展開を促進
- 機能 X:政策形成・実行支援(シンクタンク機能)
官民対話(Track1.5)を通じた政策形成支援と国家間連携の推進

これらの機能を一体的に提供することで、単発の実証にとどまらない「政策×ビジネス」の戦略的展開を実現します。

3. 今後の予定

本事業では、初期フェーズにおいて現地ニーズや制度環境の調査・設計を行い、その後、人材交流、ビジネスマッチング、データプラットフォーム構築、実証案件の創出・事業化支援へと段階的に展開します。最終的には、日本と中東の企業・機関が継続的に参画できる協力拠点の形成を目指します。

MRI は、本事業を通じて、

- 中東における衛星データ利活用の社会実装
- 日本企業の海外展開支援
- 政策とビジネスをつなぐ国際連携の実現

を推進します。

これらの取り組みにより、中東における宇宙・衛星データビジネスの展開、政策設計、国際連携、実証・事業化に関する関心・課題を持つ企業・機関を支援します。

※1:JAXA 宇宙戦略基金「衛星データ利用システム実装加速化」採択結果(2026年3月13日)

https://fund.jaxa.jp/content/uploads/kekka2_22.pdf

※2:当初委託契約期間は、委託契約締結後から、最初のステージゲート評価が終了する日の属する年度の末日まで

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号

【内容に関するお問い合わせ】

フロンティア政策本部 武藤、鶴飼(桂)
メール:ssf-me-satpf@ml.mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

広報部
メール:media@mri.co.jp

本資料は、経済産業記者会、経済産業省ペンクラブ、および当社にてコンタクトのある記者の方々にもご案内しています。